

平成20年度 各会計決算を認定

平成20年度各会計決算の認定議案は、9月定例会最終日に市長から提出され、その後これらの議案を審査するため、一般会計及び特別会計の各決算特別委員会が設置されました。委員会では、一般会計を10月13日から15日まで延べ約29時間、特別会計を10月16日に約7時間かけて審査が行われ、採決の結果、いずれの会計も認定すべきものと決定いたしました。

12月定例会初日の本会議では、宮崎照夫一般会計決算特別委員長と浅倉成樹特別会計決算特別委員長から審査報告が行われ、採決の結果、平成20年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計の各決算議案が賛成多数で、国民健康保険事業特別会計等5会計の各決算議案が全会一致でそれぞれ認定されました。(3面に「議案に対する各会派の賛否」を掲載)

なお、本会議での一般会計決算に対する各会派(無会派は除く)の討論の要旨は以下のとおりです。

平成20年度決算総括表

(単位:千円)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	53,330,270	49,379,055	3,951,215
特別会計			
国民健康保険事業	16,290,380	15,654,537	635,843
老人保健	1,098,709	1,065,508	33,201
後期高齢者医療	2,474,445	2,387,235	87,210
介護保険事業	8,279,617	7,987,853	291,764
下水道事業	4,949,139	4,930,931	18,208
受託水道事業	112,938	112,938	0
合計	86,535,498	81,518,057	5,017,441

一般会計決算に対する 各会派の討論 要旨

政和会

投資的経費の低さと税金の無駄遣いを指摘

反対する理由は、①投資的経費が類似9市中最下位という現実にもかかわらず、道路などの都市基盤整備に積極性が見られない。②決算に必須な書類の記載漏れが審査を通して判明した。③新にバス道の改良等に約4千4百万円の経費が必要となったが、車種変更が正解であったのか疑問。④規模等からして事務系の副市長は一人で十分である。1年につき1人2千万円の人件費は他のサービスに回すべき。⑤自治基本条例づくりでは最終的に7千万円以上の経費が予想される。理念と現行制度の確認が主な内容の条例に巨費を投入することの是非及び責任が問われるべき。⑥市長は都市計画道路3・3・8号線の早期整備、及び小平・村山・大和衛生組合の3市共同再資源化施設建設プロジェクトについてリーダーシップを発揮し、果敢に進めることが重要。⑦教育長は小平の教育をどう進めていくかあいまいである。リーダーシップを発揮し、時にはトップダウンで進める必要がある。以上指摘して、反対討論とする。

市議会公明党

変化に対応した予算執行を評価

賛成
評価できる事業として、①定額給付金事業は急激に悪化する経済状況に敏感に反応し、大きな効果を上げた。②子育て応援特別手当は、多子世帯への支援緊急措置として多くの市民から喜ばれた。③麻しん・風しんワクチンの児童・生徒への2回目の接種実施事業は、実効性ある感染症対策であった。④学校の耐震補強と大規模改修が大きく進んだ。⑤妊婦健診は、さらに使いやすい制度への拡充を望む。課題が残る事業として、①自治基本条例は、市と市民がともに主体者という姿勢がな

ければならないという点を指摘する。②不況対策特別融資は生活実感とスピード感に欠け、民意に鈍感であった。③環境分野であるが、歩きたばこやばい捨て問題の抜本的解決にはほど遠い状況である。④地域エネルギービジョンの策定は基礎数値に修正と差し替えがあり、ずさんな内容であった。⑤市の若者支援ビジョンは、若年就労世代への明確なビジョンを望む。⑥教育関連は人材育成の明確な方針と成果を望む。

以上全体として予算執行事務を評価し賛成討論とする。

フォーラム小平

長期総合計画に基づく予算執行を評価

躍動をかたちに進化するまちこだいらの理念のもと、着実に施策が実行されてきたと認識する。

自治基本条例づくり等の推進により、将来に向かい市民自治を進める基盤づくりができたと考えられる。教育・文化では学校施設の耐震補強やエレベーターの設置等、学校施設の安全性の向上が図られた。今後、小学校のティーチングアシスタントの拡充、教育相談の充実を期待する。また、丸型ポストのように地域資源を掘り起こし、生かしていく施策等が求められる。次世代育成の拡充では

行政が地域と手を携えて子育てに取り組む観点から、幼稚園と保育園を一体化した認定こども園への移行が促進されたことは特筆すべきである。都市基盤整備の推進ではコミュニティタクシーの実証実験運行等により、地域の公共交通の充実が図られた。また、市内駅付近の自転車駐車場の整備も進められた。今後は、放置自転車対策や交通安全対策の強化を期待する。行財政の再構築では、経済環境が悪化する中でも着実に債務を減少させ、市の財政の健全化が進められている。以上、賛成討論とする。

生活者ネットワーク

市民活動支援事業の推進を評価

賛成
市民活動支援事業が推進され、コミュニティタクシーの実証実験運行などの市民協働型事業が実施されたことを評価する。行政評価では市民ニーズを的確に把握し、行財政改革に取り組むよう要望する。男女平等施策における男女共同参画条例の制定は、男女共同参画社会の実現に向けた第一歩と評価する。子育て支援施策では子どもの育ち、子どもの最善の利益の視点を踏まえ、多様な家族を支えるための基盤を整備するよう要望する。環境施策では、地域エネルギービジョンの策定を評価する。

今後、ごみ削減に向けた施策の展開を期待する。市民参加と協働については、行政主導のまちづくりから市民とともに町をつくり上げていく姿勢に変化したことを評価する。職員の意識改革に向けた市長のリーダーシップを期待する。教育では障害のある子どもにも育ち、ともに学ぶことを選択できる環境の整備を強く要望する。また、小・中学校の耐震補強工事など計画的に実施したことを評価する。今後、通学路の安全対策等も着実に実施していくよう要望する。

以上要望も含め、賛成討論とする。

日本共産党小平市議団

市民参加と市民協働の前進を評価

賛成理由の第1は、市民生活を守る施策を後退させることなく前進させる努力が図られたことである。使料、手数料の引き上げについては基本的に抑えられた。また、病後児保育を開始し、子育て支援が拡充された。年度途中に不況対策を明示した特別融資制度を創設したことは貴重なことである。第2は、市民参加と市民協働をさらに前進させたことである。自治基本条例の制定に向けた市民の会議の活動を支援するとともに、市民と市と議会が一体となって条例づくりを進めるといことは、

これまでになかった市民との協働の手法として評価できるものである。また、コミュニティタクシーの運行に向けて市民と協働を積み重ね、困難を乗り越えながら進めてきたことも大変重要であった。市民参加と協働は、今後の大きな市政の課題である。市民が期待することは、情報公開、情報共有の中で市の施策をみずから協働して進めていくということであり、市と市民の信頼関係をさらに深め、市の基本的な責任を明確にして今後発展させてほしい。

以上、賛成討論とする。

議事を傍聴
しませんか?

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として
午前9時

場所 市役所7階

傍聴される方は、
議会事務局へ
お越しください。

2月 1日(月) 総務委員会	2月23日(火) 3月定例会本会議(初日)	3月 9日(火) 総務委員会
2月 2日(火) 生活文教委員会	2月24日(水) 3月定例会本会議(一般質問)	3月10日(水) 生活文教委員会
2月 3日(水) 厚生委員会(※)	2月25日(木) 3月定例会本会議(一般質問)	請願・陳情締め切り(午前中)
2月 4日(木) 建設委員会(※)	2月26日(金) 3月定例会本会議(一般質問)	3月11日(木) 厚生委員会
2月 5日(金) 議会改革調査特別委員会 (開会時刻未定)	3月 2日(火) 予算特別委員会(一般会計)	3月12日(金) 建設委員会
2月 8日(月) 請願・陳情締め切り(午前中)	3月 3日(水) 予算特別委員会(一般会計)	3月24日(水) 3月定例会本会議(最終日)
2月18日(木) 議会運営委員会(開会時刻未定)	3月 4日(木) 予算特別委員会(一般会計)	
	3月 5日(金) 予算特別委員会(特別会計)	

(※)現地視察を予定しており、議案や請願等の審査はありません。